

<株式会社エフエム東京 第 4 3 2 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成 28 年 10 月 4 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（4 名）

横 森 美 奈 子 委員長

内 館 牧 子 委員

ロバート・キャンベル 委員 川上未映子 委員

◇欠席委員（2 名）

渡 辺 貞 夫 委員

秋 元 康 委員

◇社側出席者（9 名）

富木田 代表取締役会長

千代 代表取締役社長

平 専務取締役

吉田 常務取締役

村上 取締役 編成制作局長

山科 常勤監査役

延江 営業局 エグゼクティブ・プランナー

宮野 編成制作局 編成制作部長

松任谷 編成制作局番組プロデューサー（オブザーバー）

◇社側欠席者（1 名）

森田 編成制作局コンテンツ開発特命担当

兼 株式会社グランド・ロック代表取締役社長

**【事務担当 村上放送番組審議会事務局長】**

4. 議題：番組試聴（約 31 分）  
『高橋みなみの「これから、何する？」』  
2016 年 9 月 20 日（火）13:00～14:55 放送

＜議事内容＞

議題 1:最近の活動について

■2016年8月度 聴取率調査結果について

2016年8月度の首都圏ラジオ合同聴取率調査結果が、ビデオリサーチより発表されました。(調査対象期間:2016年8月22日～8月28日)

当社コアターゲットM1F1層(男女20～34歳)においては前回6月度に引き続き、M1F1合算で全日平均(6時～24時)単独トップを獲得しました。特にラジオのセッインユースの高い平日および土日のデイトム(9時～18時)においては、第2位の局に大差をつけてトップとなりました。

好調に推移しているF1は9期連続トップ、前回トップを獲得したM1でもさらにスコアを伸ばしてトップを維持しました。今回は特に20代で男女共にスコアを大きく伸ばし他局を大きく引き離しております。

更に、12～59歳区分のリーチ(到達率)は16期連続で単独トップを継続しており、幅広い層からも高い支持を獲得しています。今後も若者層を中心に、幅広いリスナーに共感される話題、選曲を精査し、さらなる聴取率の向上を目指してまいります。

■radiko.jp「タイムフリー聴取」サービス、「シェアラジオ」実証実験開始

2016年10月11日(火)から、さらなるラジオメディアの価値向上とラジオ番組コンテンツの接触機会拡大を目的に、IPサイマルラジオradiko.jpで『タイムフリー聴取機能』(無料)の実証実験が開始されます。聴き逃してしまった番組、時間が合わなくて聴けなかった番組を、過去1週間に限りいつでも聴取可能にするサービスです。日頃ラジオに馴染みのない特に若年層、ラジオノンリスナーに、放送後にネットニュースやSNSなどで話題となったラジオ番組を後から聴ける機能を提供することでラジオに触れる機会を醸成します。

また、タイムフリー聴取機能のサービス開始に伴い、民放連ラジオ委員会が提唱する新しいラジオ聴取文化『シェアラジオ』の普及を推進してまいります。radikoの番組聴取画面に新しく設置する「シェア」というボタンを押せば、自分がお気に入りの番組、さらには友人が気に入りそうな番組をソーシャルメディアを通じてお知らせ・共有が可能になります。ラジオが好きナリスナーひとりひとりがおススメの番組を拡散する新しいラジオ聴取文化を目指してまいります。

このシェアラジオのブームアップ施策として、シェアラジオ特別番組『サントリー天然水 presents 宇多田ヒカルのファントム・アワー』を全国の民放ラジオ局で10月11日(火)～10月17日(月)の期間で、放送します。TOKYO FMでのオンエアは10月11日(火)20:00～20:55となります。

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○ラジオを聴く時に **radiko.jp** は大事なサービスかと思うが、タイムフリーは **TOKYO FM** だけのサービスなのか？シェアラジオとはどんな機能なのか？

■**radiko.jp** 加盟局全てで始まるサービス。

シェアラジオは、今も比較的ラジオが好きリスナーが **SNS** で番組のことを発信していると思うが、そこにさらに **URL** を記載することでその番組が聴けるページへの誘導が可能。

○**LINE** でも **twitter** でも利用可能なのか？

**URL** をクリックするだけで聴けるのか？番組はフルで聴けるのか？

■**LINE** でも **twitter** でも可能。シェアされた **URL** をクリックすれば聴ける。放送後1週間、1番組で3時間という条件があるが、早送りも巻き戻しもできる。

○それはとてもいいと思う。せつかく **SNS** で番組の内容をを知っても今までは聴くことはできなかった。長い番組を全部聴かなくても、シェアされた面白い場所だけを聴けるのは画期的。

○どんどん進化している。ラジオを持ってない人も聴ける。

■**TOKYO FM** はドコデモ **FM** など、いち早く **IP** サイマルを取り入れてきた経緯もあり、タイムフリーは **TOKYO FM** と親和性の高いサービスと考える。

議題 2 : 番組試聴

【番組名】 『高橋みなみの「これから、何する？」』

【放送日時】 2016年9月20日（火）13:00～14:55 放送

【番組概要】

本日ご試聴いただくのは、9月20日（火）に放送した平日午後の生ワイド番組『高橋みなみの「これから、何する？」』のダイジェストです。この番組は、高橋みなみがAKB48卒業後初の冠番組として秋元康氏監修で今年4月にスタート。高橋みなみ自身がリスナーと一緒に学び、悩み、歩いていくプログラムです。

この夏、近年稀にみる大型台風上陸の連続で各地に甚大な被害がもたらされましたが、この日はその中でも最も被害が大きかったと言われる北海道帯広市へ赴き、高橋みなみが現地取材の様子を放送しました。「大変な状況でも頑張っている住民、農家の人がある、そして東京に住んでいる私たちにできることは？」というテーマで、自然災害に遭いながらも諦めずに収穫する農家を訪ね、被害状況の映像を見ただけでは伝わらない、現地の人々の生の声を届けました。

また、北海道で地域再生の新たな取り組み、大自然の中で宿泊できる「MEMU EARTH HOTEL（メムアースホテル）」を開始した小山薫堂氏との現地対談も行い、小山薫堂氏の「熊本地震の時のような、災害後に観光客が減少する二次被害は避けたい」というメッセージを伝えました。

高橋みなみは、このような状況の中で現地取材することが正しいのかどうか、伝える立場として悩みながらも、その迷う気持ちも隠さず、東京にいる我々ができることは何か？とリスナーにメッセージした回です。

▼高橋みなみと小山薫堂氏の対談／MEMU EARTH HOTEL ▼現地で農家、酪農、観光業の方を取材



【委員の意見および社側説明】

（「○」委員意見／「■」社側意見）

○高橋みなみさんにすごく好感が持てた。はしゃぎ過ぎず、固すぎずとても良いバランスだと思った。今、若い子の中には、テープレコーダーを逆再生したような甲高い喋り方をする子たちもいるが、何を言っているのか聴き取りにくいことがある。高橋みなみさんは若いのに聴き取りやすく、年配の人にも受け入れられると思った。被災した当事者の話は、リアルだけれど（ラジオなので）画（映像）がない分、テレビに負けるんじゃないかと思った。テレビは被害状況を映像で伝える。映像がない分どうやって伝えるのかは制作者に課せられたことだと思う。ホテルの取り組みについても聴いただけでは良く分からなかったが、配られた資料で分かった。番組の中（今回視聴用に編集した部分）ではちゃんとホテルの取り組みについて説明しているのか？

■高橋みなみさんと小山薫堂さんがホテルの中をいろいろ歩いて状況を説明している。

○この番組はどういうコンセプトなのかが分かりにくい。短く聴いた中ではなんとなく行き当たりばったり感を感じてしまった。その時々テーマを選んで関係者にインタビューをするのであれば、どこでもやっているようなことで、新しさはないし、高橋みなみである必要もないんじゃないかと思う。これだけいいキャラクターで知性も感じられるのだから、高橋みなみならではの、他の同世代タレントではできない何か欲しいなと思った。全体としては大変好感が持てたが、番組としては少しおとなしい。

○番組の冒頭に台風の中継が入ったことについては、偶然かもしれないが、すごくタイムリーだと思った。全体のテーマについては、災害の直後に被災地に行くべきか、行って何をするのか不安を抱えつつ、高橋みなみさんが迷い、行くことを決めて、それによって被災地の人を勇気づけたり、伝えることによって風評被害を防いだりして、『復旧期』という時期のボランティアではない関わり方、メッセージとしてはとても好感が持てる。酪農家の方や農家の方などをまとめて座談をしていることについては、少し残念だった。一つ一つの現場に行って状況を臨場感とともに伝えて欲しかった。加えて、現地での高橋さんとスタジオでの高橋さんとの差異がなく、フラットに感じてしまった。

■編集して今回の視聴音源ではカットしてしまったが、実際は現地に行っている。農家を訪れ、ジャガイモの収穫をしたりトラクターに乗るなど、実際の農家や農作業に触れてその上で話を聴いている。

○ホテルのパートで（音声を聴いただけでは）空間の認識ができなかった。隈研吾さんのパートでは、災害に強い建築の話をしていない。日本が先進国だという話をしている。災害に強い建築の話を掘り下げてして欲しかった。

○放送は 9 月 20 日ということだが取材日はいつか？

■前日の 9 月 19 日。帰って来たのは放送当日だった。

○高橋みなみさんのキャラクターは、ちょっとした言い間違いとかも含めて、自分で考えて自分で一生懸命行動しているのが伝わる。聴いている方が応援したくなる。こういうところが人々に好まれるのだと思う。先ほど意見のあった、座談会よりも個々のところに行った方が良かった、ということについては、実際は訪れていたということだが、座談会自体はとても良いと思った。資料の写真が状況説明を手伝ったこともあるかも知れないが、現地のみなさんが明確なメッセージを持っていて、「来てくれればチャンス」だとか、「自然を受け流す」など、言葉がとても印象的に残った。高橋みなみさんのスタジオと現地でのコメントに差異がなくフラットという意見があったが、それに関しては、確かに現地とスタジオとの展開が混ざり合っただけで分かりにくいことはあった。また、高橋さんが現地の方が言った言葉のまとめをしていて、それが繰り返しに感じられた。それは繰り返すことで強化されるというメリットもあるかも知れないが、もっと高橋さんならではのコメント、なかなか（災害などのデリケートなテーマは）誰かを傷つけないようになど難しいけれど、突拍子もないこと、高橋さんの感じたことを言った方が良い。まとめに入ってしまったらもったいない。「本当のところはどうなんですか？」や、もっと忌憚ない言葉を聴いてみたい。小山薫堂さんのパートは土台がしっかりしていてとても聴きやすかったが、ホテルに関しては、こういうところがあるというのは伝わるが、実際聴いた人が行くためのナビゲーションがないのが気になった。訪ねていける場所と言うリアリティが欲しかった。

○この番組は始まって半年くらいということだが、聴取率はどうか？

■堅調に伸びている。

○AKB48 時代の高橋さんのことが詳しい訳ではないので大変フラットな気持ちで番組を聴いた。ナレーションとインタビューの境目がなかったのは BGM のせいだと思った。スタジオだと BGM が入っていて良いが、インタビューの時は現地の雑音が入ればよかったのだが、かえって強く BGM があつたように思えた。BGM が気になってしまった。小山薫堂さんには BGM がなく暖炉の音だ

った。その方がリアリティがあつていい。BGM があるパートとないパートの違いが気になった。高橋みなみさんのキャラクターは、若くて人気のある女性ということ以外は詳しく知らないが、若い女性らしく、良い意味でバランスのとれてないコメントというのがあつてもいいのに、とは思つた。うまくやり過ぎている気がした。ホテルについては、調べたら本当にすごかつた。すごかつたのに、番組からは伝わってこなかつた。

■現地インタビューの BGM については、どうしても編集箇所が気になつてしまい、意図的に BGM をのせることにした。前日取材の素材を翌日に出すという時間がタイトな中での編集作業だったので、このような対応になつた。

みなさんが指摘したホテルのパートについては、雄大で豪華さも兼ね備えていたホテルなので、台風の被害直後で、豪華さを伝えることへの迷いがあり、出しにくい部分がこのような形になつてしまったのかもしれない。

4 月からスタートした番組で、スタジオにゲストを招く人気コーナーもできてきた中で、このようにタイムリーにジャーナル的な取り組みをしたのがチャレンジだつた。本当に直前まで取材に行くのを辞めようか迷つた中でのチャレンジだつた。今回の委員の皆様のご意見に真摯に向き合い、スタッフと共有し、これからもさらにチャレンジを重ねながら番組作りを行っていきたいと思う。

#### 5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

#### 6. 議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送:番組「JOGLIS」  
10 月 29 日 (土) 7:00～7:20 放送
- ② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp/>

#### 7. その他

次回の放送番組審議会を、11 月 1 日 (火) に開催することを決めた。